

読みたい聴きたい

福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー・大井実さんに、
毎回テーマに沿った本と音楽を紹介していただきます。
ジャンルを超えて楽しめる作品にぜひ、触れてみてください。

撮影/スタジオパッション

ココロに、 ウツクシク

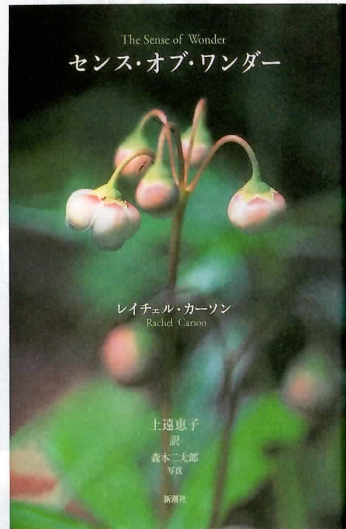
(守りたくなる、美しい自然の姿)

エコロジイが叫ばれている今、私たちが絶対に失ってはならない自然があることに、改めて気づかせてくれる一冊をご紹介します。作者は、アメリカ出身の海洋生物学者・レイチェル・カーソンという女性。『沈黙の春』という本により、科学薬品による環境汚染にいち早く警鐘を鳴らしたことで有名です。彼女の甥であるロジャーとの自然観察の様子を綴った今回の『センス・オブ・ワンダー』は、雨を含んで艶やかな表情をみせる森や、海をも包みこんでしまいそうな雄大な空、鈴を鳴らすよ

うにさえする小鳥たちの様子が優しい口調で綴られています。そして、ページをめくる度にその詩的な情景が頭の中いっばいに広がって、地球の素晴らしさに深く思いをめぐらすのと同時に、彼女は全てのものに命があるということを実感として伝えてくれているように感じます。さらに素晴らしいのは、文章の中に潜む様々なメッセージ。大人になっても、神秘さや不思議さに目を見はる感性(『センス・オブ・ワンダー』を忘れないでほしいという想いが込められており、美しいものを美しい

と感じられる心を持つことで、日々の生活の中に悲しみが訪れた時でも、身の回りに溢れる自然から癒しを得られ、強く生きるための精神力を保つことができるかと語りかけています。忙しい現代に暮らす私たちにとつて、心の薬になるようなこの本。深い内容ながらも薄い本で気軽に読めるため、プレゼントにも喜ばれると思います。そして音楽は、パット・メセニーの一枚。自然をテーマに選んだ時に、アルバム全体を通して、広大な草原をイメージさせることから選ばまし

た。中でも、誰もが一度は耳にしたことがあると思う3曲目の、ラストトレインは、私も一番気に入ってよく聴いています。また、パット・メセニーのギターの音色は、ふわっとした浮遊感があり、それはまるで優しい風を思わせる音楽です。彼は、以前このコーナーで紹介したトニーニョ・オルタのアルバムにもギターリストとして参加しており、ジャズの枠におさまらない多彩な活動を続けていますが、常に自然にふれた時のような心地よさを感じさせてくれるミュージシャンです。

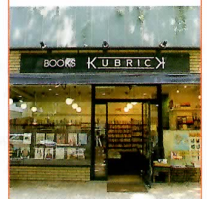


「センス・オブ・ワンダー」
レイチェル・カーソン
上遠恵子訳
新潮社版
1,470円(税込)



「スティルライフ」
パット・メセニー
ワーナーエンターテインメントジャパン
2,405円(税込)

■ 大井実さん
話題の一冊をはじめ普遍的な作品を揃える姿勢が、本好きからも注目を集めている書店『ブックスキューブリック』のオーナー。今年の秋にオープンする店舗の準備で大忙しの毎日。ブックスキューブリック
福岡市中央区赤坂2-1-12 ネオグランデ赤坂1階
☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>



自然と正面から向き合うことで、
自分とも向き合えるような気がします。